



口鼻腔 吸引 No.1

口鼻腔吸引とは

口鼻腔吸引とは、吸引用カテーテルを鼻または口から気道に入れて、吸引カテーテルを通して分泌物を除去する方法です

必要物品

●吸引カテーテル

Fr

●容器 / 水道水用

※100円ショップで売っている、ふたつきストローコップが便利

●ティッシュペーパーまたはウェットティッシュ

●吸引器

※吸引器の購入については療育支援部の看護師にご相談下さい



水



日々の管理のポイント

◆吸引グッズのお手入れについて

*水道水の容器は毎日よく洗い、清潔にしておきましょう。

*吸引びん内の痰はこまめに捨てて、そのまま放置しないようにしましょう。

*吸引器のホース内は十分水を流して、いつもきれいにしておきましょう。

カビが発生した時は交換しましょう。

◆使用済みの医療物品（吸引チューブ等）は、お住まいの地域のルールに従って捨ててください。

◆吸引器等の故障・不調時は、取り扱い業者または療育支援部、外来の看護師にご相談下さい。

何かお困りのことがございましたら、かかりつけ医か当院外来にご相談下さい。



口鼻腔 吸引 No.2

手順

- ① まずよく手洗いをしましょう
※お家では手袋をつける必要はありません



- ② 分泌物の程度、呼吸状態はどのような様子か観察しましょう
鼻がつまっていますか？
のどの奥がゴロゴロしていませんか？
胸を触ってみて、グーグーいう所はありませんか？



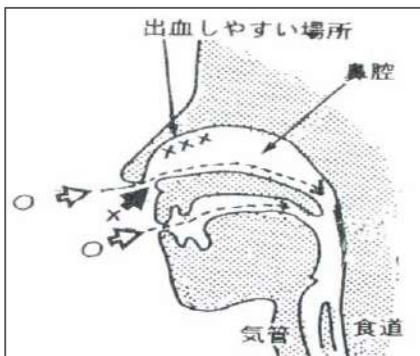
吸引圧の目安
小児では20Kpa (150mmHg)

- ③ 吸引器の電源をONにします
吸引圧を確認しましょう

- ④ 吸引チューブをとりだし、吸引器につなげます
*まず水を吸引し、吸引できるか確認しましょう



- ⑤ 吸引チューブを折り曲げて、鼻または口の中に入れます
*鼻汁の場合は鼻の奥、
のどの痰の場合は口の奥までカテーテルを入れる
(カテーテルの挿入の長さは、お子様の鼻～耳～喉までの長さを目安にしましょう)



... はカテーテルの挿入経路
○ の方向へカテーテルを入れて吸引する



- ⑥ 吸引チューブの折り曲げをもどし、ゆっくりこよりをよる様に回転させながら吸引をします
*1回の吸引時間は10～15秒以内を目安にしましょう
*吸引チューブ内に分泌物がたまったり、たくさんついた時には、水を吸って汚れを洗い流してから吸引しましょう
吸引チューブの外側の汚れがある時は、ティッシュなどでぬぐい取ります

- ⑦ 一度で分泌物がとりきれない時は、体の向きを変えて何度か吸引を行いましょう

- ⑧ 吸引が終わったら、最後に水道水を吸って吸引チューブ内をきれいにして、乾燥させておきましょう

- ⑩ 吸引器の電源をOFFにします

- ⑪ 吸引後の様子を観察しましょう
顔色、呼吸音、胸の上がり、分泌物の性状など

※鼻の粘膜を傷つけると鼻出血することがあります。多量で止まりにくい場合は病院に連絡、ご相談下さい